



男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

ジェンダーって何だろう…？

「男だから」「女だから」はもう古い？!



ジェンダーに関する用語、わかるかな？

- ① ジェンダーフリー
- ② ジェンダーレス
- ③ 固定的な性別役割分担意識
- ④ アンコンシャス・バイアス
- ⑤ ダイバーシティ



答えはこちら→

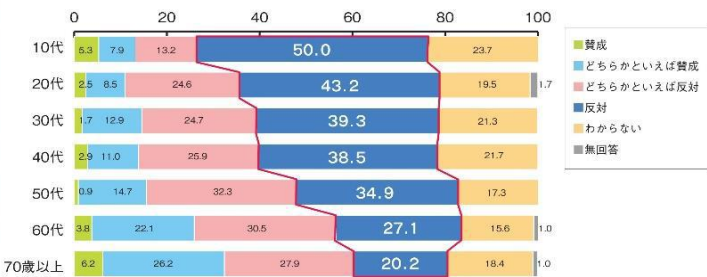
新聞やテレビなどでよく見るようになった「SDGs」。SDGsとは、持続可能な開発目標の略称で、2030年までに世界中のみんなで協力して、より良い社会を作りましょうと国連で定められた目標です。国内でも積極的に取り組む企業や地域、学校が増えてきました。SDGsでは、社会の課題を解決するための17の目標が掲げられていますが、その5番目が「ジェンダー平等を達成しよう」という目標です。



ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指します。例えば、現実では掃除が得意な男性もいるし、料理が苦手な女性もいます。それなのに「家事や育児は女性がやる仕事」と考えること。こういった性別がジェンダーです。「男だから」「女だから」はまさにジェンダーを表す言葉といえます。

SDGsの中で掲げられている「ジェンダー平等を実現しよう」という目標は女性のためだけのものではありません。性別にとらわれず誰もが自分の能力を発揮してより良い社会、「男女共同参画社会」を目指すために必要な目標なのです。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対して、どのように考えますか。



出典：焼津市総合計画に関する市民意識調査結果報告書（令和3年3月）

左のグラフを見ると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する割合は、年代が低くなるにつれて大きくなっています。時代の流れとともに「ジェンダー平等」への意識が高まっていることを表しているといえます。



1、2

3

ひとつ「働き方」を変えてみよう！
カエル！ ジャパン
Change! JPN

「仕事と生活の調和」の実現に向けて、ひとつ「働き方」をカエルてみませんか？

Aしおかげの紙面に隠れているカエルを見つけよう！全部で何匹いるかな？
ヒント：おたまじゃくしは○○○の子♪（答えはAしおかげ4ページ下）

詳細は→

